



文化財愛護シンボルマーク

お 知 ら せ

令和4年11月1日

文 化 財 課	
担当者	大 前 典 子 内 池 英 樹
外線番号 内線番号	086-226-7601 5990・5993

ふりゅうおどり  
「風流踊」のユネスコ無形文化遺産代表一覧表登録に関する  
評価機関による勧告について

この度、「風流踊」がユネスコ無形文化遺産保護条約政府間委員会の評価機関から「記載」（登録）することが適当との勧告があり、ユネスコ無形文化遺産公式サイトにおいて公表されましたのでお知らせします。

「風流踊」の中には、本県の白石踊（国指定重要無形民俗文化財、笠岡市白石）及び大宮踊（国指定重要無形民俗文化財、真庭市蒜山）が含まれております。

本勧告を受け、本年11月28日～12月3日の間、モロッコの首都ラバトで開催される政府間委員会において最終決定がなされます。

（問い合わせ先）

白石踊：笠岡市教育委員会生涯学習課（担当：安東、横田）  
0865-69-2155

大宮踊：真庭市教育委員会生涯学習課（担当：森、<sup>にいや</sup>新谷）  
0867-42-1094

名 称	構 成	内 容
ふりゆうおどり 風 流 踊	国指定重要無形民俗 文化財である41件  ※白石踊、大宮踊を 含む	華やかな、人目を惹く、という「風流」の精神を 体現し、衣裳や持ちものに趣向をこらして、歌や、 笛・太鼓・鉦などの囃子に合わせて踊る民俗芸能。 除災や死者供養、豊作祈願、雨乞いなど、安寧な 暮らしを願う人々の祈りが込められている。祭礼や 年中行事などの機会に地域の人々が世代を超えて参 加する。 それぞれの地域の歴史と風土を反映し、多彩な姿 で今日まで続く風流踊は、地域の活力の源として大 きな役割を果たしている。

(風流踊に含まれる岡山県内の国指定重要無形民俗文化財)

名 称 (保護団体)	指定年	内 容
しらいしおどり 白 石 踊 (白石踊会)	昭和51(1976)年	笠岡市白石島に伝承される盆踊で、源平合戦の戦 死者の霊を慰めるために始められたものといわれ、 8月13日から16日の夜に踊られる。島内の老若男女 が櫓をめぐって輪を作り、大太鼓と音頭に合わせて 踊る。同じ踊りの輪のなかに男踊、女踊、娘踊、笠 踊、二つ拍子などの複数の踊りがあり、一つの太鼓、 一つの音頭で各自各様の踊りを踊る演技・演出法は 類例も少ない。
おおみやおどり 大 宮 踊 (大宮踊保存会)	平成9(1997)年	真庭市の蒜山高原山麓の村々に伝承され、8月の 盆の期間、日を替えて各所の神社・寺・辻堂などそ れぞれの地の老若男女によって踊られる盆踊である。 屋外・屋内のいずれの踊り場でも上方に長四角形の 大灯籠を吊るし、その下に踊り子が輪を作り、音頭 取り数名と太鼓叩きが位置する。踊りは全身の動き に細やかに心を配りながらの大変美しい型となっ ている。



白石踊



大宮踊